

▼バリブライト P[内]

【重要度】 【一般製剤名】 硫酸バリウム barium sulfate 【分類】 X線造影剤

【単位】 ▼g

【常用量】 検査部位に応じて適量の水で調整

【用法】 経口もしくは注腸

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【主な副作用】 ショック、アナフィラキシー、過敏症、排便困難、便秘、一過性の下痢・腹痛、肛門部痛・出血、悪心、嘔吐など

【吸収】 吸収されない (1)

【排泄】 100%糞便中排泄 (1) 検査後2日目までにほとんどの例で排泄が完了する。

【MW】 233.39

【透析性】 該当しない (5)

【禁忌】 消化管穿孔、消化管の急性出血

【備考】 消化管運動機能が低下している高齢者では特に、滞留による消化管穿孔がおこりやすい。バリウムの排泄には十分留意し、排便困難や便秘を防ぐため検査後、水分の摂取・下剤投与等の処置をする。

【更新日】 20180409

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。